

【社会科学】

近年、政府が進めている社会保障とその財源に関する改革の動向について述べた次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

- ア. 子ども・子育て施策では、待機児童が特に 3 歳以上に多いことから、その受入体制の拡充を進めており、また、20 代後半から 40 代前半の女性の就業率を 50%まで上昇させる目標を掲げて女性の就業支援を行っている。
- イ. 年金分野では、パートなど短時間労働者に対する厚生年金の適用を目指しており、また、将来の無年金者を抑制していく観点から、国民年金を受給するのに必要な加入期間を短縮する改革案が策定された。
- ウ. 医療・介護分野では、看護・介護サービスの中心を在宅から施設へ移行する改革を進めており、また、国民健康保険の財政運営を地域の実情に合わせたものにするため、運営主体を都道府県単位から市町村単位に移行した。
- エ. 貧困・格差対策では、第 1 のセーフティネットである雇用保険を受給できない失業者に対して、第 2 のセーフティネットである生活保護の給付を充実させるなど、就労支援よりも生活支援を中心とした改革を進めている。
- オ. 高齢化に伴い社会保障給付が増加する中、財源の確保が課題となっている。消費税は税収が安定的で、かつ負担が勤労世代に偏らないことから、社会保障・税の一体改革では、消費税を社会保障の財源とすることが議論された。

- 1. ア, ウ
- 2. ア, エ
- 3. イ, エ
- 4. イ, オ
- 5. ウ, オ

[正答 4]

【人文科学】

中華人民共和国の歴史に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 中国はソ連をモデルとして国家建設を進め、ソ連から援助を受けたり、国際社会で共同歩調を取ったりするなど、建国時からソ連が崩壊するまで、ソ連との親密な関係を維持した。
2. 中央の民族政策への反発から、チベットでは1950年代に反中国暴動が起きた。これは軍隊によって鎮圧され、チベット仏教の指導者のダライ＝ラマは亡命を余儀なくされた。
3. 内戦に敗れて台湾に移った中華民国に加えて、1970年代には中華人民共和国も国連に加盟した。これを契機に日米は台湾政府と北京政府の両政府と外交関係を持つようになり、国際的に「二つの中国」が認められるようになった。
4. 毛沢東の死後、鄧小平が実権を握り、経済の開放・自由化に努めた。しかし、1980年代末に北京の天安門広場に集まり民主化を要求した学生・市民を鎮静化できず失脚に追い込まれた。
5. 1990年代に香港がイギリスから中国に返還された。返還後、中国政府は香港の自治権を認めず、中国国内の他の地域と同様の社会制度に香港を組み込むことを強行した。

[正答 2]

【自然科学】

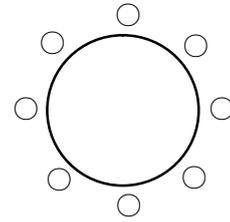
ヒトの器官に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

1. 心臓は自律神経系の働きで弛緩と収縮を繰り返しており、右心房、右心室、左心房、左心室の四つの部屋が一斉に収縮して血液を全身に送り出している。
2. 肺は横紋筋と呼ばれる筋肉からなり、この筋肉の弛緩と収縮によって空気を出し入れし、取り入れた空気から酸素を血液中に取り込んでいる。
3. 小腸の壁には柔毛と呼ばれる小さな突起が多数あり、消化酵素の働きにより分解された栄養分は柔毛の中を通る毛細血管やリンパ管に吸収される。
4. 肝臓はアルコールなどの分解を行っており、分解によって生じた物質を原料としてインスリンやアドレナリンなどのホルモンを合成している。
5. 腎臓は血液中の不要な水分の排出のほか、有毒な物質の無毒化を行っている。有毒な尿素は血液中からこし取られ、無毒な物質に変換され再び血液中に放出される。

[正答 3]

【判断推理】

A～C社の社員が合計 8 人集まり、図のような円卓を囲む席に座って懇親会を行った。次のことが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。



- ・各社から少なくとも 2 人が参加した。
- ・同じ会社の社員は隣同士でなかった。
- ・B社の社員の右隣は、必ずC社の社員であった。
- ・A社の社員同士は間に 2 人以上おいて座っていた。

1. A社の社員の 1 人おいて右隣は、B社の社員でなかった。
2. B社の社員の 1 人おいて右隣は、B社の社員でなかった。
3. C社の社員の 1 人おいて右隣は、A社の社員でなかった。
4. B社の社員の正面は、B社の社員でなかった。
5. C社の社員の正面は、B社の社員でなかった。

[正答 3]

【数的推理】

ある人が日帰り旅行を計画し、旅行予算のうち、 $\frac{3}{4}$ を交通費とし、残りは食事代と土産代とした。しかし、旅行当日に予定していた電車に乗り遅れて一部タクシーを利用したため、交通費が予定の1.2倍になった。そこで土産代を予定よりも3,000円減らしたところ、旅行費用は予定の1.1倍となった。当初の旅行予算はいくらであったか。

1. 50,000 円
2. 56,000 円
3. 58,000 円
4. 60,000 円
5. 64,000 円

[正答 4]